

事務事業名	単独農業用施設災害復旧事業(R3災)		所属部	建設部	所属課	農地整備課 (災害復興T)			
総合計画 体系 目的 対象	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	災害復興G	課長名	今岡 久		
	施策名	〈34〉農業の振興		担当者名	高木 洋輔	電話番号	0854-40-1062 (内線) 2474		
	基本事業	〈097〉農業基盤の整備・保全		予算 科目	会計	款	大事業	大事業	農業用施設災害復旧事業
	目的 対象	市内の農家	意図		安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	0:1	5:5	0:1	中事業
					0:5	1:5	0:5		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
被災箇所	被災箇所の復旧を図ることにより、農林水産業の維持を図り、併せてその経営の安定に寄与する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R3 年度 ~ R7 年度)	豪雨災害により、土砂崩壊、路肩決壊、水路の破損などの被災を受けた農業用施設(農道・水路など)を原形復旧するもの。 採択申請要件として24時間雨量80mm以上かつ時間雨量20mm以上であること、1箇所の工事費が原則13万円以上40万円未満であること。 起債充当率:80%(小災)、65%(一般単独) 受益者負担 通常:2% → R3災:0%
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
R3災 被災箇所確認、復旧工事138箇所	R3災は非常に甚大な被害であったことに鑑み、特例措置として受益者負担を求めないこととしている。(通常:2%→R3災:0%)

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 発注率(年度末時点)	%	8	32	57	100
イ 完了箇所数(全体552箇所)	箇所	44	132	138	73
ウ 完了率(年度末時点)	%	8	32	57	70
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)	
【R5現年(R3災)】138箇所 工事費:83,106千円 ※地方債:災害復旧債	財源 内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円	18,100	36,200	58,800	108,500
		その他	千円				
		一般財源	千円	8,541	18,274	24,306	42,000
事業費計		千円	26,641	54,474	83,106	150,500	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	被災農業用施設の復旧により、農業経営の維持安定化が図られた。 R6年度以降引き続き早期復旧に努める。
② 事業実施するうえでの課題	R3災は非常に箇所数が多く、復旧も複数年度にわたる見込みであるが、近接箇所は一括工事にするなど、早期復旧に向け計画的な発注が必要となる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国、県、管理者との情報共有を行い、円滑に事業進捗するよう努める。